



なきごえ



1997

8



大阪市
天王寺動物園協会



(撮影：萩原 祐二)

- 2 — New Face ニホンザルの赤ちゃん (萩原 祐二)
- 3 — 動物と私 フクロウのすむ大学 (駒井 古実)
- カバウォッチング アオハリトカゲ (萩原 祐二)
- 4 — 庭にきた狸と友達になって (松岡 節)
- 6 — 環境学習のひとつの試みとしての動物工作展 (早川 篤)
- 8 — グラフZOO 新人君の仕事ぶり (大野 尊信)
- 10 — 公園・花だより ⑩ 夏の花 (山元 貞幸)
- 11 — ZOO DIARY (竹田 正人)

カバウォッチング

アオハリトカゲ

トカゲ亜目 イグアナ科

北アメリカに生息しているトカゲです。岩の割れ目を棲み家にし、昆虫を主食にしています。

(撮影：萩原 祐二)

||||| 動物と私 |||||

フクロウのすむ大学

子供のころからの夢であった昆虫分類学を専攻したばかりに、就職口がないまま(分類学での職探しは今も昔も大変です)、大学在籍期間は17年目を終わろうとしていました。そんなとき幸運にも南河内にある現在勤務している大学から就職の話が舞い込んだのです。そのとき私はもう35歳になっていました。その大学は石川の小さい高い河岸段丘上の、ため池や雑木林に囲まれた静かなところがありました。里山の豊かな自然が、長いオーバードクター生活で少し疲れていた私の心をいやしてくれました。暇をみては大学周辺を散策し、植物、野鳥、昆虫などを見て回りました。

5月の連休明けのある日、事務局からフクロウのヒナがいるので至急来てほしいとの連絡が入りました。フクロウのヒナなど見たこともないし、どう扱っていいものが、かいても見当が付きません。いってみると校舎の渡り廊下の上に、ぬいぐるみのようにかわいらしい小さなフクロウのヒナが、丸い目をこちらにむけてじっとしていました。おそろおそ



駒井古実 さん

(大阪芸術大学助教授 生物学)

る近づくとカチカチと威嚇音を発しますが、さわっても別にかみついたりせずおとなしくしていました。そのときはこれが巣立ったばかりのヒナであるとはわかりませんでした。フクロウは本来ならマツなどの大木の洞に巣をつくりませんが、そのような木が見あたらないこの大学での営巣場所は校舎のひさしの下のようでした。背後に比較的良好に茂った林がありますが、ヒナはどういうわけか例年ほぼ同じ校舎の階段や渡り廊下などで発見されます。そこは大変人通りの多いところで、きまつて学生に発見され大騒ぎになります。ある年には巣から落ちて弱っていると勘違いした学生が家に持ち帰りしばらく飼育したことがありました。すぐにつれもどしたのですが、餌が合わなかったせいかかなり弱っており、こちらでは手に負えなくなり、そのときは天王寺動物園のお世話になりました。

ニホンザルの赤ちゃん サル目 オナガザル科

6月に生まれたニホンザルの赤ちゃんです。とても愛嬌があります。親ザルも子供が可愛いのでしょう、ずっと抱きかかえてなかなか写真を撮らせてもらえませんでした。



こんなことがあってから10年ほどたちますが、ほぼ毎年フクロウのヒナの巣立ちを確認しています。いまや大学のフクロウも大変有名になりました。図書館や2カ所ある講師控え室にはフクロウのヒナの写真が飾ってあります。フクロウの巣立ちを確認するとすぐに事務局の人が注意の張り紙をしてくれます。フクロウが縁となりいままで話をしたこともない人と親しくなったり、ある教員からはフクロウ保護のためのカンパを呼びかけられました。「ミネルヴァの使者」フクロウは大学のシンボルとしてふさわしいのかもしれない。(こまい ふうみ)

庭に来た狸と友達になって

たぬき

松岡

節童話作家

「狸が庭に来るのよ」そう言う
と、私の家を知ってる人は、「ウソ!!」と、信じてくれません。知らない人は、「山の中に住んでいるのですか」と、驚いた眼つきをします。どちらにしても、私は嬉しくて心の中で笑うのです。

私の住む新興住宅地は、奈良市西南部はずれの低い丘陵地帯にあります。そのまた西南の一番端の高台に私の家があります。南側の雑草園のような庭は東西に細長く、崖の上ですから人家がありません。狸達にとっては、遊びに来やすい庭です。

街で狸を見かけるという声が出はじめた頃、朝日新聞に東京都町田市の町だぬきの記事が載りました。街の下水道を住み家に、けもの道として道路わきの側溝を利用して、都市の周辺で人間と共存している狸であると記述されていました。

そのとおり家に来た狸も、北側の市道の側溝を出入り口としています。若葉の4月、はじめて2匹を見たとき、あのむっくりもっくりのぼんぼこ狸とはおおよそ違っていました。目の回りが黒いので狸だとわかったぐらいいです。

衛生状態の悪い下水道ぐらし、2匹ともよれよれ尻っぽのつけねあたりが、ただれて赤い肉が見えています。おなかをすかしているらしく、パンにとびつきました。私はただれが気になり、狸の体重を考えながら抗生物質を粉末にしたものをソーセージの中深くつめて狸の前に置きました。1個はうまく食べました。2個めはかむなり、すぐばいと吐き出して



玄関から「お邪魔します」

しまいました。次の日、薬入りと、そうでないのとを混ぜて与えると、薬入りは食べません。鋭敏な嗅覚でわかるのでしょうか。

でも、1ヶ月もすると皮がはってなおってきました。自分でなおす野生動物の力に感心しました。

狸が来るとわかったので、私は専門家から聞いて狸食を作ることにしました。残り御飯に魚類肉類、油揚げなど、それにキャベツ、ちんげん菜、ほうれん草などの野菜を細かくきぎんで炊いた雑炊です。お玉杓子に山盛り1杯分が1匹の量として、狸を見たときに与えました。魚雑炊を炊くと家中においしい匂いが漂います。夕方帰宅した夫が言いました。「今夜は魚すきですか」「真夏に魚すきなどしますか。狸食ですよ」私のすげない返事にも夫は怒りません。彼も狸が大好きだからです。夫に「タヌキパン買ってきて」と頼むことがあります。というのは、狸食を全く食べない黒足のパン太郎というのが現れたからです。しかも、食パンは嫌い、好みはバターロール。パン太郎は、人間から与えられた最初のうまい食べ物に固執しているのかもしれない。



おばさんの狸食うまいんだ

というわけで、我が家ではバターロールがタヌキパンとなりました。お店で「タヌキパンありませんか」と言ったら面白いでしょうね。

平成7年の4月から9年の5月まで、庭に来た狸の数を10匹から12匹とみています。狸はつがいまたは親子で1つの穴にくらし、ときには10頭ほどいるとか、宇江敏勝氏が記述しています。

ところで、下水道狸の個体確認が外形からはどうしてもできません。ばらばら来ますから、顔、大きさ、形、毛の色など、区別がはっきりしません。目の表情が人なつこく、この目で決めようとしたのですが、見れば見るほどみんなが、間寛平さんのやさしい目にそっくりでだめでした。

そこで、彼らの性格や行動の特徴を見てつけました。黒足のパン太郎などはよい例です。すばしこく、いつも真先に食べるのがチャッカー。のんびり、まったりしているのがノンビリ。ムカデに目の上をかまれて、ウリンボウみたいな顔で先頭をきって現れた子狸がムカデリー。名無しで

いたのが、あるとき、家人の大きなおならの音に驚いて跳び上がったのでオナラブル。でも、この名前は英語で、HONORABLE。名誉あるという意味がありますから立派です。

チャッカーは、狸食を食べていても、パンをちぎって投げると、ぱくぱくと2つくわえます。

狸の数の概念は2までかと思っていたらとんでもない。4つ5つと口に入るだけ入れます。4つめくわえるはずみに1つ落としても、4つあると思って、すたこら帰ってゆくから愉快です。

狸は食べ物を持って運んでいきます。それ相当遠くまでいくようです。狸には溜糞とって、決めた場所に糞をする習性があるらしく、私の家の庭の目立たない所にトイレを作りました。すぐ糞が溜まるので、穴を掘って埋めています。その穴の側から山芋の蔓が伸びていますが、数年後掘って山芋を食べるときには、私はちょっとたじろぐかもしれません。とある日、そのトイレのすぐ側に、鱈のひらきがそのまま置いてありました。もらったか、かすめてきたか、どこからか運んできたものです。

運ぶといえば、生まれて間もない赤ちゃんも運びました。私は見なかったのですが、狸好きの町内の奥さんが見ました。子狸を1匹ずつくわえて、町内の道を夫婦でリレーして、安全な側溝へ運んだそうです。彼女の家と私の家は200メートル離れているのですが、狸の夫婦が危険な道路を渡って真昼間、子狸4匹を庭の食卓へ連れてきたときは、本当に感動しました。最初の日には1匹、次の日は2匹、安全性を確かめていたのでしょう。1週間め総勢6匹のお出ましとなり、さながら庭は自然動物園になりました。6匹連れ立って来るのは1ヶ月ぐらい続きましたが、そのうちどのように分かれていったのか、また2、3匹の形になりました。



6匹揃ってこんには

狸は狐と違って雑食だからつよいと言われていました。その証拠に庭の生態形に変化がありました。カタツムリ、トカゲ、ヤモリなどの減少です。特に被害にあったのは、羽化寸前のアブラゼミではなかったかと思えます。ぬげがらまでむしゃむしゃ食べるんですからね。

狸食を食べたあと、すぐ立ち去るのもいれば、土に鼻をつけて、ふんふん鼻息荒く生き物をさがすのもあります。草を食べるのも見ました。腹薬かもしれない。糞の中に柿の種を見つけたので干し柿をやったら喜んだこと。狸は柿が大好きです。

食べ物をあさらないで、昼寝をするのもあります。前足を伸ばし顎をのせて、犬の昼寝と同じ姿です。

かと思うと、哲学者のようにじっと空を見上げるのがあります。私は彼にワカランリーと名前をつけました。大体近づく



物思いにふけり哲学者となる

と逃げた狸と、平気なのがあります。生まれつきの性格だと思います。ムカデリーなどは、居間のガラス戸に鼻をつけて、私の様子をうかがったり、ときにはガラス戸を前足でかいたりして、狸食を要求しましたが、決して私は手でじかに食べ物をやることはしませんでした。それは、野生であること、あまり人間に馴れさせてはいけないと考えていたからです。

でも、お話しはよく聞かせました。小さい目をきょろりと回し、私の顔を見て聞いてくれるのです。

ある月のよい晩でした。ワカランリーにぶんぶんくちやがまの話を語ってやりました。カチカチ山の話は狸にとって、気分のいいものではありませんものね。ワカランリーと



催促したものの前にあるパン切れいただくわけには?

私の顔の間隔は30センチ。ワカランリーは、ときどき目玉を動かして、「ふむ、ふむ、いい話だ」と喜んでいるようです。こんな不思議な時を過ごせるなんて、私は幸せ1杯の気分になりました。

この頃、狸の話をして、「ウソ!!」とは誰も言いません。私の話術がうまくなったからではありません。狸族が生きてゆくためのちえや力に、真実性があるからだ、私は考えています。

(まつおか せつ)

環境学習の ひとつの試みとしての 動物工作展

み なさんにとって動物園は、何をすべきところなのでしょう。動物園とは“教育施設”である、というのが私の考えです。とは言うものの、ここで使う教育施設としての動物園というのは、学校とか、一時代前の博物館のように（今の博物館は楽しい展示がたくさんあります。）難しく頭が痛くなるような所をイメージして使っているわけではありません。やはり動物園というのは、楽しい場所であればならないとも考えています。だって、お父さんやお母さんに、「今日は、みんなで学校に勉強しに行くぞ。」とか言われて喜ぶ子どもは、まあ、そんなにいないのではないのでしょうか。でも「動物園へ行くぞ。」と言われれば、喜ぶ子は少なくとも前者に比べれば、多いでしょう。たぶん。そして、それこそが動物園の持つ強みだとも考えています。どんなに素晴らしい教育の場をつくっても、それを利用してくれる人たちがいなければ何の価値もないのと同じです。楽しみながら学べる場、それこそが、ここで使う教育施設としての動物園というもののイメージなのです。

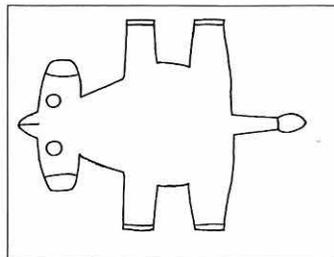
動 物園の目的は、なきごえの誌上で以前から何度も書き続けていることなのですが、今回も書かせてもらいますが、“種の保存の場”と“環境学習の場”であるということになっています。絶滅の危機に瀕した種を保存する、つまり繁殖させて、その種を維持していくのです。しかし、いくら動物園でたくさんの頭数が確保できたところで、彼らが本来生息すべき環境がなくなっているのでは本当の意味で、種を保存していると言えるのでしょうか。これは、あり得ない話ですが、遠い将来世界のあらゆる場所にビルが建ち、工場が並び、川も山も木もなくなった所で、動物園の中で象やキリンが種として生き続けていたとして、本当にそれで良いと考える人はいるのでしょうか。これは極端な例なのですが、よく見ると私達のまわりには、ほぼこれに近い話が、転がっているのに気づいている人はいるのでしょうか。種を保存することと同じように大切なことは、自然環境を守ることです。そのためには、私達は自然や環境について学ばなければなりませんよね。動物園の大きな役割として、動物を通して、動物をとり巻く自然環境、つまり動物と植物、他の種類

の動物との関係、その動物が今どういう状況にいるのか、人との関わりはどうしていけばいいのだろうか…等、いろんな事を紹介したり、考えていただけるような場所を提供するということがあります。

動物園とは、本来、動物を見せ物として展示し自然界で生活しているものを、無理やりオリに入れた人間の娯楽のための場ではないはずですが。そして、動物園を経営する人達の最低限の倫理として、先述した2つの目的を達成するための努力はすべきであり、それでこそ初めて動物園だと言えることができる施設となるのです。この目的を遂行する努力をしない園は、少なくとも動物園という看板をどうするのか、よく考えなければならないと思います。みなさんも動物園を利用する際はただ動物を見て楽しむというのではなく、その動物園が果たして動物を飼育する資格があるかどうかチェックしてみてください。そういう見方で動物園を見ると、全国のたくさんの園間で様々な取り組みや努力がなされているのを発見できると思いますし、また新しい利用方法も見つけられると思います。

私 も動物園で働く者のひとりとして、環境学習の場としての動物園って、どういう事をすればいいのだろうと常々考えています。説明パネルをつくったり、自然と触れ合うことの大切さを実感してもらおうと考えたり、様々な試みをしているところです。そのための小道具として書いた絵や工作物がたくさんあり、それが山積みになっているのを見て「展覧会でもしてみたら」と企画してくれた方々がいて、去る5月23~25日の3日間、“動物工作展”というものを開きました。延べ850名程の人達が見に来てくれ、無事終えることができました。この個展は、言ってみれば、環境学習のためのひとつの試みとして作っていた小道具としての作品が集まったもので、作品それぞれがメッセージとか目的とかではないのです。あくまでも作品を通して、いろんなメッセージを伝えることが本来の目的だったので、誌面を通して、もう一度そのメッセージを伝えたいと思います。

紙 の動物。これは、白地のシマウマやキリンに模様を書いて完成させてもらうペーパークラフトです。シマウマの模



白地のシマウマ。
シマウマの模様が描けますか？

様って書けますか。知っているつもりでも案外ちゃんと見ていないものなんです。もう一度動物園に来て、よく観察してください。またダンボールを使って置き物なんかも作ってください。紙を無駄にしないでね。紙なんていくらでもあると思っていませんか。あなたは自分で紙をつくれますか。僕はつくれません。だから大切にしたいと思っています。

粘土の動物。これも紙のキリンと同じです。身近な素材である粘土を使ってみました。耳の形やバランスなど、もっと高度な観察が要求されます。**石**の動物。川や山だけではなく、これもいろんな所で注意深さがせば見つかる素材です。そこに絵を書いてみましょう。でも粘土や紙と違って石は、私達が自由に形を変えることはそう簡単にはできませんよね。石本来の形と動物の仕草や形態がマッチしたときに作品が生まれます。自分のお気に入りの動物をじっくり観察して、ひとつひとつの仕草や動物の気持ちが、頭ではなく体にしみ込んでしまうくらい観察してみましょう。そうすれば、ふと石を見たら、それが何かに見えるもの

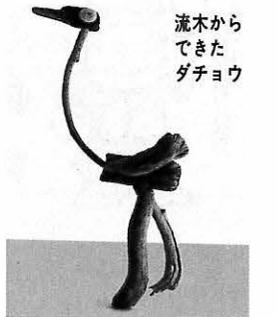


Hippopotamus amphibius
石のカバたち

す。動物を知るといのは、よく観察することから始めろということかなとこの頃思います。作品を作り始めて、私もいろんな川に行くようになりました。大阪は水の都といいますが、川原で石がひろえる所はありません。私は子どもの頃、尻無川と木津川に挟まれた町で育ち、川原などない護岸工事のされた所が川だと、ずっと思っていました。石の動物をつくり始めた頃、兵庫、京都、和歌山といろんな川に行き、なんときれいな川があるもんだと幸せな気分になったものです。しかし、この頃、ホテルが飛び交ったり、雨上がりに行くと増水していたり、流れの中で石をめくると小さな虫がいたり川の様々な姿を発見するにつけ、これが普通の川なんだとやっと気づくことができました。じゃあ私たちの町、水の都大阪には川はないんじゃないかなとか考えたりもして、すこし悲しくなったりもします。

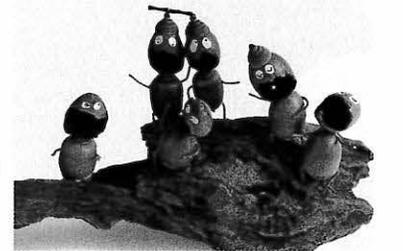
流 木の動物。流木とは川や海を流れてきた木のことで。石と同じように水の力で削られ、いろんな形のものがあります。石は主に単体でつくるのですが、流木は組み合わせでつくりま

す。一つの木を見て動物の体の一部を感じれば、あとは他の部分を見つけて組み立てていくだけです。流木は、波や水の力で一か所に集まってきます。そこには流木だけではなくゴミも一緒に集まってきます。海や川がどれだけ人間によって汚れているかが、ゴミだけを見ても理解できました。



流木から
できた
ダチョウ

のどんぐり達は、私がつくったのではありません。正確に言うと、口のところは野ネズミがどんぐりを食べるためにかじった痕なのです。だからこの作品は、野ネズミと私の共作。野生動物と一緒に作品をつくった人なんて、そういないんじゃないかな。わりと自慢なんです。



野ネズミたちが、かじったあとの
どんぐりを利用した工作物

という感じで作品を紹介してみました。動物を観察したり、自然と触れ合って欲しいということも大切なメッセージなのですが、もうひとつ伝えたかったのは、消費文明についても考えて欲しいということ。子どもにオモチャなどを買い与えるのではなく、自分たち（親も含めて）で創造して遊ぶという楽しさを与えてやってもらいたいということ。何と言っても、将来をつくるのは子どもたちです。自由で豊かで優しい発想を持てる環境をつくるのは大人の責任なのではないでしょうか。

今 日も動物園では、人の手からエサをねだることばかり考えているスズメたちが噂話に余念がありません。柵を越えて広い世界を見れば、もっともっと楽しい人生が待っていることを、彼らはいつ気づいてくれるのでしょうか。

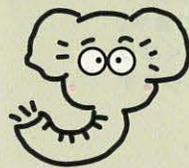
最後になりましたが、工作展の企画から搬出までたくさんの方々に協力いただきました。また会場に来てくださった方々にも共に誌上にて御礼を言わせていただきます。これからも人と動物や自然をつなぐことができると考えていきたいと思っています。どうも有難うございました。

(飼育課：早川 篤)

グラフィック ZOO

ちょっとおじゃま 新人君の仕事ぶり

今年6月の飼育持ち場の異動により、新たにアジアゾウの担当になった油家謙二君の仕事ぶりを紹介してみましょう。
飼育課：大野尊信

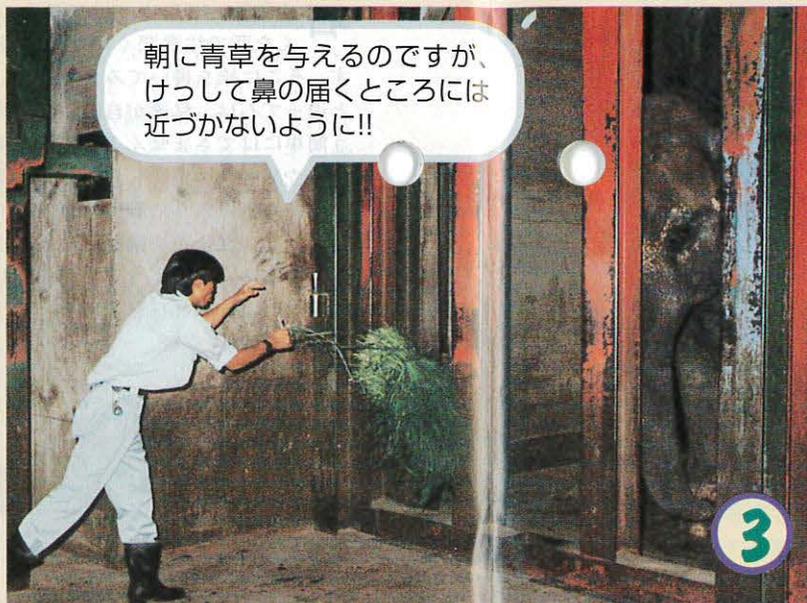


朝一番は

ラニー博子とのコミュニケーションから。



リンゴを与えながら、体調や精神状態を見抜けるようにならなくては…。



朝に青草を与えるのですが、けって鼻の届くところには近づかないように!!



博子の足の係留クサリをはずすため足を上げさせますが、

一人で行うにはまだまだ不安です。



ゾウが運動場にでたことと寝室の掃除。



運動場には先輩と一緒に、まだまだ入ることはできません。少しさみしいなあ。



ゾウは水浴びさせてもらい楽しそうですが、新人にはイタズラをするクセがあるので要注意です。



7

参考書や資料に目を通すのも大切な仕事のひとつです。また、ゾウをより一層理解できるようになるまでには多くの体験も必要です。



公園花だより⑱ 夏の花

アサガオ
ヒルガオ科、一年草。
種子は5月上旬、八十八夜前後に蒔きます。おそくとも、5月中には蒔きましょう。
アサガオの花ことば、明日もさわやかに！

ヒルガオ
昼顔、ヒルガオ科、多年草。
最近、いたるところに生えていますが、生えるところによっては、ただの雑草で、花壇の中や、垣根の中に生えますと、ぬくのに大変です。
ヒルガオの花ことば、だんだん入りこむ！

ユウガオ
夕顔、多年草。ユウガオの花ことば、はかない恋！

ヨルガオ
夜顔、多年草。ヨルガオの花ことば、夜ひらく！

サツマイモ
多年草、ヒルガオの仲間。
昼顔や夕顔と同じような花が咲きます。

ヒマワリ
向日葵、キク科、一年草。
花は常に太陽の方に向かい、太陽と共に花が回るので、ヒマワリと呼ばれたそうですが、常に太陽に向かっているとは限らないと思います。北向きのほうが多く見受けられます。
ヒマワリの花ことば、敬慕、けいば！

サルスベリ
百日紅、ミソハギ科。
樹皮が、サルものほれぬほど、つるつるしているように見えるので、サルスベリの名がつけられたそうです。また、サルスベリには、春4月ごろ種子を蒔いて、夏7月中旬～9月頃まで花を咲かせる、一オサルスベリもあります。潔白(けっぱく)という花言葉をもつサルスベリ
サルスベリの花ことば、潔白、けっぱく！



ハウセンカ
鳳仙花、ハウセンカ科、一年草。
ハウセンカには面白い性質があります。じゅくした果実を指でつまんだり、少し触れたりすると、皮が急に、パチッと、はじけて中から種子がとびだして、びっくりします。
ハウセンカの花ことば、私に触れないで！

カンナ
ダンドク科、球根。
カンナの花ことば、南のゆうわく！

ホウズキ
ナスの仲間、多年草。
ホウズキの花ことば、可愛い感じ！

夏です。暑い、暑い、この時期には、花にも夏休みをする植物があります。私の感じるところでは、たとえば、サルビア、マリーゴールドなど、花色もうすくなり、花の咲きも悪く、花数も少なくなります。サルビア、マリーゴールドは、秋になり涼しくなりますと、また花色もこくなり、花数も多くなりますので、霜がおりるまで楽しめます。
夏の代表的な花を朝顔から紹介いたします。

グラジオラス
アヤメ科、球根。
昔はオランダショウブといわれ、切花として有名だったそうです。今でも切花には最高の植物です。
グラジオラスの花ことば、密会！

マツバボタン
ポーチュラカ、ツメキリソウ、スベリヒユ科。
温室内では多年草。霜によわい。乾燥に強く、ひでの時にほかの草花は、しおれてもこれだけはよく茂って花を咲かせますので、ヒデリソウの名もあります。マツバボタンの花ことば、忍耐！

ホタルブクロ
キキョウの仲間、多年草。
ホタルブクロの花ことば、熱心にやりとげる！

ダリア
キク科、球根、テンジクボタン。
ダリアの花ことば、華麗！

アザミ
キクの仲間、多年草。
アザミの花ことば、独立！

サルビア
ヒゴロモソウ、オドリコソウ科。
サルビアの花ことば、私の心は燃えている！

ケイトウ
セロシヤ、ヒユ科、一年草。
ケイトウの花ことば、色あせぬ恋！

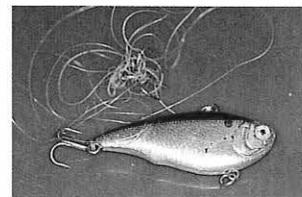
ジニア
ヒヤクニチソウ、キク科、一年草。
百日草の花ことば、今は亡き友を思う！

ベニヒモノキ
ナガボアミガサノキ、アカリファ・ヒスビダ、トウダイグサ科。
インド原産の常緑低木で、自生地では高さ2～5mになるそうです。当園でも30年ほど前には温室内で地植していたころ、3mぐらいにのびて花穂が1m50cmぐらいのびたことがあります。
花穂が紅色のひも状をなすベニヒモノキ



ベニヒモノキを、鶴見緑地での花博にも展示したこともあり、今は大阪市庁舎玄関前にも飾り付けしています。7月中旬～8月上旬ごろまで飾ります。当園でも飾り付けしますので、ぜひ、ご来園下さい。
夏の花には芝の中によく生えるネジバナ、クローバ、ニワゼキショなど、まだまだたくさんあります。また、道ばたで生えている雑草の中にも、きれいで可愛い花をつける植物があります。
花や植物をやさしく愛し、大切にして下さい。
(管理課・温室主任：山元貞幸)

6月17日 大阪城のお堀のコブハクチョウの足にルアーが刺さり、当園で治療しました。以前にも同じような怪我が持込まれたことがあります。お堀での釣りは禁止されているので、やめてほしいものです。



6/18. ニホンコウノトリ2羽を福岡市動植物園に贈りました。
6/24. ブタオザルが1頭生まれました。

6月25日 当園で生まれたタガメ10匹を“生き生き地球館”に贈り、かわりにゲンゴロウ1ペアをもらいました。爬虫類生態館“アイファー”で展示する予定です。



6月26日 (社)大阪市天王寺動物園協会の平成9年度の通常総会が開催され、磯村会長の挨拶のあと、各議案について審議、原案どおり満場一致で承認されました。今回は春の人事異動に伴う役員の一部改選があり、動植物公園事務所の井坂進所長が新たに理事に、また森永製菓の北川榮一氏と雪印乳業の羽田誠一氏が前任者の後任として理事に就任することが決まりました。



6月28日 6月15日に生まれたアミメキリンの赤ちゃんと母親の“ハルミ”の一般公開を始めました。赤ちゃんはオスで、“ピット”と名付けました。
“アイファー”でヒョウモントカゲ



今月もおもしろ情報満載

ZOO DIARY

モドキが2頭ふ化しました。
7/2. ライオンが2頭生まれました。
7/3. 当園にとって初めてレッサーパンダの赤ちゃんが生まれました。巣箱の中にいるので頭数は不明です。
7/8. 昨年ふ化したアカコンゴウインコ2羽をシンガポールのジュロンパードパークに贈りました。
今年4月にふ化した3羽のアカコンゴウインコのうち1羽が巣立ちしました。
7/10. “アイファー”でアカダイショウが23匹人工ふ化しました。

“鳥の楽園”で今季初めてオシドリが人工ふ化しました。

7月11日 平成9年第1回近畿ブロック動物園技術者研究会が当園で開催されました。全部で12動物園30名の参加があり、日頃の研究成果を発表し、活発な意見交換をしました。



7/16. “ヤマネコ舎”でカラカルが生まれました。巣箱の中にいるので頭数は不明です。

“鳥の楽園”でシュバシコウが1羽巣立ちしました。

■お知らせ■

- ゾウの春子にリンゴのプレゼント
日時：9月15日(祝) 午後1時～
場所：ゾウ舎
- 動物園のおじさんのお話
日時：9月21日(日) 午後1時～
内容、場所未定

愛ある暮らし、応援します。

Kintetsu

近鉄百貨店

DEAR LIFE BOOKS



生態・飼育・図鑑が一つの本の 中にギッシリ

動物園で暮らす様々な生き物達、自然の中ではどんな暮らしをしているのか？動物園での世話の仕方は？仲間とは？など、写真と精密イラストをまじえ紹介します。

くらしかいかたシリーズ<既刊本>
B5変型判・オールカラー

むし くらしかいかた

野山でみかける身近な昆虫たち
250種を紹介。

ちいさないきもの くらしかいかた

昆虫以外の小さな生き物を320
種紹介。

お求めは、お近くの書店で。 ひかりのくに株式会社 本社/〒543 大阪市天王寺区上本町3-2 ☎06-768-1151代表



マスタのポップコーン



〈営業品目〉 製造機械・保温機 他
生コーン・袋詰ポップコーン・原材料一式

(株)増田食品 〒561 大阪府豊中市穂積1-10-30
TEL (06) 865-0165

新・きれいな色 FUJICOLOR SUPER G ACE 400



カラの大林

桜橋本店 ☎341-8091
阪急三番街店 ☎372-5031

狼

その生態と歴史



平岩米吉著

ニホンオオカミの正史

「狼の正史」といふのは、古くは「狼と人間の歴史」や「狼と人間の関係」など、狼と人間の関係を中心として記述した歴史書や資料と、生態学の観点から記述した

ニホンオオカミの生態と歴史の集大成

狼 — その生態と歴史 —

平岩米吉[著] A5判 308頁 定価2,678円(税込)

ニホンオオカミは今もどこかで生きのびているのか——。

狼と生活をともにした実体験を基盤に、数十年にわたり収集した正確な資料と生態学の眼をもって、ニホンオオカミの特徴や大きさ、性質などを分析。今も根強く残っている残存説を検証するとともに、絶滅へといたる歴史をも詳述する「ニホンオオカミの正史」。

築地書館 〒104 東京都中央区築地2-10-12 TEL 03-3542-3731 FAX 03-3541-5799 振替 00110-5-19057
●ご注文は、最寄りの書店または直接上記宛先まで。(直接郵送時の送料は一律400円です。)

新作
貸出用ビデオ「楽しい天王寺動物園」
19分(10本常備)

- 対象/保育園・幼稚園・小学校の先生
- 貸出期間/10日間
- 貸出料/無料(但し郵送料510円は必要)
- 申込先/当協会まで手紙かハガキでお申込下さい。

コアラテレホンカード(限定販売)
好評発売中 ¥800(50度用)

天王寺動物園の本

入園の記念・手引に……

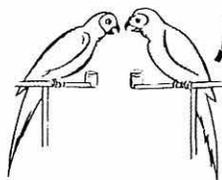


オールカラー
500円 園内売店にあります。

大阪市天王寺動物園協会 〒543 大阪市天王寺区茶臼山町6-74 ☎(06)771-0201



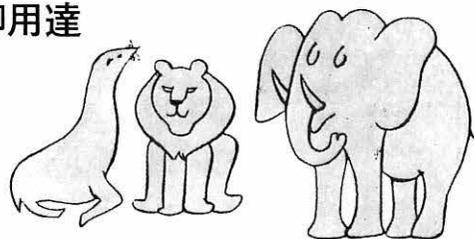
近畿 コカ・コーラ ボトリング 株式会社
KINKI COCA-COLA BOTTLING CO., LTD. (コカ・コーラ指定会社)
Coca-Cola & Coke は The Coca-Cola Company の登録商標です



鳥獣輸入

全国動物園水族館御用達

- ・医学実験用動物
- ・宣伝用、テレビ用、貸動物
- ・原色世界雑類図鑑(34種1枚もの)要郵便券250円



有限会社 吉川商会

本社 神戸市中央区中山手通3丁目11番4号
飼育場 兵庫県小野市来住町1513番地

電話(078)221-8195(代)

たのしい動物のお話は、
ガイドマシン(動物説明機)で、どうぞ!!



園内、主要動物舎
30数カ所にあります

関西特機株式会社
電話 06-762-2333
1回 30円

動物園内での
お食事、
ご休憩は

動物園内.....

中央売店

TEL 06-771-0973



お食事・飲み物・おみやげ 動物園内
南園売店 TEL 06-771-7110



..... LOTTE

みんな大好き

エアラのマキ

〈チョコレート〉 〈ストロベリー〉



雪印 つぶよみ フルーツ ヨーグルト



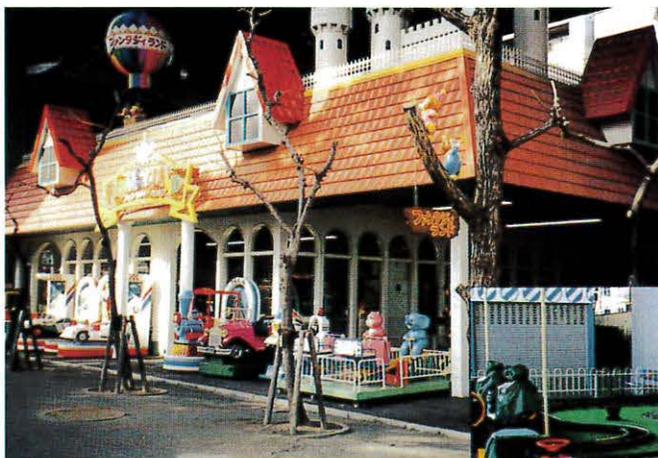
●ライチミックス ●ストロベリー ●アップル ●ピーチ ●フルーツミックス

おいしさは、産地のよさです。

台湾のライチ、フィリピンのナタ・デ・ココとパイナップル——●ライチミックス
 国産の女峰、オレゴンのトーテム、中南米のチャンドラー、季節の旬を追って——●ストロベリー
 日本の富士、中国・韓国の国光。それぞれおいしい季節の——●アップル
 桃といえば中国です。そして韓国。旬に一括収穫した白桃で——●ピーチ
 アプリコット、メロン、アップル、パイナップル、ミカン。果物狂の——●フルーツミックス

お待たせ
新発売

希望小売価格・税抜 **各100円**



一日
愉快地
たのしめる

◎園内3ヶ所(南園高架下・北園中央デッキ北側・北園高架下)に各種のりものがあります。



久竹娛樂株式会社
TEL(06)541-3938(代)

なきごえ

1997年8月10日発行(毎月10日発行)第33巻 第8号(通巻384号)

編集/大阪市天王寺区動植物公園事務所
 発行人/大阪市天王寺動物園協会 伊東重朗
 印刷所/株式会社 松村善進堂

〒543 大阪市天王寺区茶白山町6-74
 電話 大阪 (06) 7 7 1 - 0 2 0 1
 振替口座 00930-2-37823

編集委員 [井坂 進/馬詰好文/増野悦敏/中川哲男/藤田四郎/長谷川敏昭/落合正彦/宮下 実/榊原安昭/森本委利/高橋雅之/市川久雄
 長谷川貞雄/中上正幸/佐藤紀子/萩原祐二/竹田正人/高見 利/大野尊信/野口秀高/早川 篤/村上勇一/西村慶太/山元貞幸]